

教育カリキュラム

コース名	社員教育「生産管理体験道場」 1日(8時間)×3回コース					
対象者	生産管理業務関する知識の浅い方					
ねらい	生産管理システムに関わるエンジニアに、工場の実情を体験いただき、製造業のお客様とのコミュニケーションをスムーズに行えるように、提案時などにお客様目線に立てるようになること					
実施概要	4～5名で1工場を編成し、その工場において紙の腕時計(4製品)を作ります。この工場は資本金50万で設立し、運営においてはお金のやり取りも含む「工場版マネージメントゲーム」です。この模擬工場で生産活動を体験後に、その工場に対する改善提案やシステム化提案を実習します。また、その工場における(簡易)損益計算や(簡易)原価計算を、手作業で実習します。					
講師	清水秀樹	参加人数	4～20名	作業場所	貴社ご指定の場所	
テキスト	①基礎から学ぶ生産管理システム 著者:清水秀樹(日経BP) ②専用テキスト		特記事項	・下記所要時間は大よその時間です(上限は8時間/日)		
回数	テーマ	内容			所要時間	実施日
1回目	紙の腕時計工場の運営を体験する	5名で1つの工場を編成し、「紙の腕時計工場」の運営(発注。物づくり・支払・請求など)を体験する			7.5 時間	
		形式	内容		所要時間	
		自己紹介	講師及び参加者の自己紹介		30 分	
		ガイダンス	体験道場の主旨や紙時計工場の運営方法などについてのルール説明		30 分	
		グループ実習	工場設立(設備購入)、試作部品購入、試作、部品調達などを体験する		90 分	
		グループ実習	工場運営Ⅰ(部品調達・製造・出荷・支払・請求など)を体験する		30 分	
		グループ実習	改善タイム		60 分	
		グループ実習	工場運営Ⅱ(部品調達・製造・出荷・支払・請求など)を体験する		60 分	
		グループ実習	伝票を整理し、工場の損益計算を体験する 工場運営の総合評価、改善効果などを整		90 分	
		発表・講評	損益・総合評価・改善効果を発表		30 分	
		講義	生産管理全体概要 用語の整理(宿題として一部実施)		30 分	
2回目	製造業務や現場改善を体験する	紙時計工場における工場損益および原価計算を体験する			7.5 時間	
		形式	内容		所要時間	
		グループ実習	工程フローおよび部品表をチームごとに作成すると同時に、問題点を洗い出す。		60 分	
		講義	物づくりのムダの考え方について講義		30 分	
		グループ実習	手待ち撲滅の作り方を検討する (生産の同期化)		60 分	
		グループ実習	製造作業改善タイム (検討した作り方や5Sを実施)		60 分	
		グループ実習	改善効果を把握するために、改善案に従い工場運営を体験する		60 分	
		グループ実習	伝票を整理し、工場の損益計算を体験する 工場運営の総合評価、改善効果などを整		60 分	
		グループ実習	製品別の原価を求める (時間の都合で宿題にする場合があります)		60 分	
		発表・講義	改善結果および原価計算結果を発表する		30 分	
		講義	製造業務全体概要 用語の整理(宿題として一部実施)		30 分	

回数	テーマ	内容		所要時間	実施日
3回目	業務改善とシステム提案を体験する	紙時計工場における生産計画・調達・出荷業務の改善を体験する		7.5 時間	
		形式	内容	所要時間	
		講義	管理業務におけるムダの考え方	30 分	
		グループ実習	体験した工場における管理業務の整理	60 分	
		グループ実習	生産業務の改善およびExcelベースの改善システムを検討する	60 分	
		グループ実習	調達業務の改善およびExcelベースの改善システムを検討する	60 分	
		グループ実習	出荷管理業務の改善およびExcelベースの改善システムを検討する	60 分	
		グループ実習	Excelをベースとしたシステム化提案を作成する	120 分	
	発表・講評	提案書を発表する	60 分		
【成果物】	当体験道場を受講いただいた結果を成績書としてご提出いたします。成績書のご提出は、上記の講座がすべて完了後から1週間後となります。				
【特記事項】	※実施にあたってご準備頂きたい物品は下記の通りです				
会場	会場は4～5人を1チームとしてチーム作業ができるように一般的な会議室にあるテーブル2台必要です。参加者は8名(最大10名)を前提に2台×2を配置できる広さの会議室の確保をお願いします。				
物品	物品名	数量	※1:体験学習で使用する伝票およびテキストを弊社で準備いたします。 ※2:教育で使用する部品などの印刷は別途お願いする場合があります。		
	プロジェクター	1 台			
	ホワイトボード	1 台			
	ホワイトボード用のペン	任意			
	ゴミ箱	2 個			
	はさみ	6 本			
	ホッチキス	3 個			
	ホッチキス針	任意			
	のり	3 本			
	ボールペン	各自			
電卓	各自				